

理学部

生命圏環境科学科・環境科学プロジェクト実習 コロナ禍で女子美とのコラボ企画継続中

竹内 彩乃

2018年度より、理学部生命圏環境科学科の新カリキュラムとして始まった「環境科学プロジェクト実習」。環境科学に関するプロジェクト(以下PJ)に参加し、PDCAサイクルを意識したマネジメントについて学ぶ学部2年生を対象とする実習である。生命圏環境科学科では、持続可能な社会の構築に貢献できる人材育成をめざしており、本PJ実習は他者と協力して課題解決する力を身につけることを大きな目的として掲げている。

学生はまず、民間企業でPJ管理の経験が豊富な外部講師から、PJを進めるうえでの基本的な課題設定の考え方やスケジューリングの方法などについて学び、企画書を作成したうえでPJに取りかかる。途中、中間発表会を開催し、外部講師や教員からの助言を受け、講義の最終日に最終発表を行う。2018年度1件、2019年度4件、2020年度4件のPJが立ち上がった。

2019年度に始まった「ペットボトル削減意識啓発PJ」は、「廃材で学科のノベルティを作成できないか?」という教員発案のPJとして始まった。習志野キャンパスで1日に約2,000本のペットボトルが廃棄されていることから(2019年10月現在)、当初はペットボトルの再利用で作られたファイルの制作を企業に委託すること

を考えていた。しかし、外部(講師)からのアドバイスや女子美術大学(女子美)の松本先生との出会いを通じて、プロジェクト内容を大幅に変更し、東邦大学の学生が、ペットボトル削減に関する意識啓発のコンセプトをまとめ、女子美の学生がコンセプトにあった展示作品を制作することになった。2020年4月から習志野キャンパスメディアセンターでの展示を予定していた。コロナ禍で活動を一時中断していたが、今年の夏よりオンライン会議を再開した。

PJには正解がないため、自分たちですべて考えなければならないが、協力して自分たちの「正解」を見つけて成長していく学生を見るのは頼もしい。時期は未定であるが、作品が完成したら習志野キャンパスメディアセンターでの展示を予定しているため、興味のある方はご覧いただければと思う。

(理学部・生命圏環境科学科・講師)



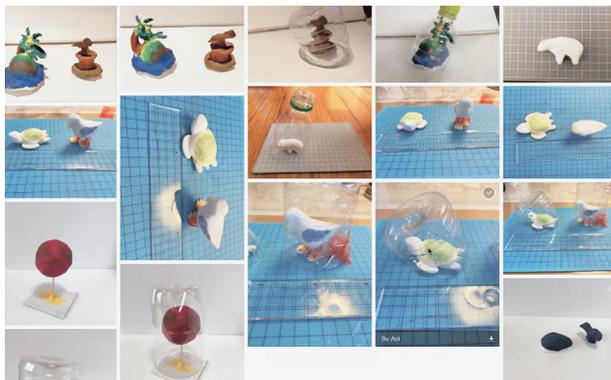
こちらより、
生命圏環境科学科の
バーチャル学科ツアーが
ご覧いただけます。



集合写真@東邦大学習志野キャンパス(手元にあるのがオブジェの原画)



Zoom会議の様子



女子美の皆さんが作ってくれたオブジェ



合同会議の様子